

# 九州北部地区大会

～宜野湾はごろも海洋少年団と交流も～

第18回九州北部地区大会が7月30日～8月1日まで沖縄県宜野湾市にて開催され、指導者19名、団員23名、保護者2名が参加しました。



福岡空港から那覇空港に降り立ち、早速、貸切バスで昼食を兼ね「ひめゆりの塔」を見学、その歴史を学び記念撮影を行ないました。その後、平和祈念資料館で、平和の大切さを勉強しました。

真夏の、沖縄の暑さは半端なく、首里城を見学中外はスコールみたいな雨が降り、少しは暑さも和らいだように思えました。この後は、宜野湾はごろも団にお世話になり、海岸沿いで手旗受信競技とロープワークの競技大会を実施しました。日ごろの訓練の成果を出すべく団員は真剣なまなざしでした。海岸沿いからホテルまで徒歩で移動、ホテルで部屋割りや班別編成後、夕食の時間となりました。



二日目は、水着とTシャツタオルなどの服装で海岸まで歩き、早速、沖縄県連盟の「美ら海体験教室」に導入しました。指導者は、船舶などの揚げ降ろしを手伝いながら、全体で120名位の一般参加者と混じって、はごろも団の池原団長から、危険な海の生き物、約束事の説明を受け、団員たちはそれぞれ、バナナボート、シーカヤック、プレジャーボート、沖縄の昔の船など自分が体験したいものに順序良く挑戦し、指導者もみんなで各種目を楽しんでいました。昼食を含め午後三時まで沖縄の雲もない青い空やさわやかな風、コバルトの美しい海を体験して満喫しました。

夕方、競技の表彰式を行ない、手旗、ロープワークの満点者が発表されました、又、はごろも団に努力賞バッジが手渡されました。夜は、夕食後宜野湾はごろも団員を含め、レクリエーションやゲームで楽しみの夜を過ごしました。

三日目は、団員が待っていた観光でした。まず最初は『琉球村』で、沖縄の民謡舞踊やハブを見ました。メインの『美ら海水族館』ではイルカショーを、大きな水槽ではジンベイザメやマンタなど珍しい魚類を見て時間が足りませんでした。あたふたと貸切バスに乗り込み、那覇空港への帰路となりました。

最後に沖縄県連盟とはごろも団の皆様にも多大なご協力を賜り九州北部地区大会が無事に終了したことを心より感謝いたします。

(実行委員長・佐世保団長 松本文男)

